

SSH関連科目における課題研究の個人用ルーブリックテンプレート

- ・このテンプレートをもととして、担当者が科目の特性に応じて修正を加えて使用し、奈良タイム・SSP理数・理数探究等における課題研究の評価を行う。
- ・評価においては、課題研究の時間配分を考慮して、他の評価と総合的に実施する。
- ・課題研究を点数で評価する場合の、根拠として位置付ける。生徒に目標として提示し、評価をフィードバックする。

奈良高校の目標に基づく 評価の基準	レベルの意味	大幅に改善を要するレベル	やや改善を要するレベル	満足できるレベル	十分満足できるレベル	非常に高いレベル	
	観点\ 得点	1	2	3	4	5	
	具体的特徴	分からない。 活動が行えない。	活動を行っている。	活動を行い成果をあげた。	各観点での自己の状態を自覚して、 成長を果たしている。	省察をし、広い視野で考え、更なる成長に臨んでいる。	
1. 主体性 主体的な活動	規準 徴候	受動的である。	能動的であることの方が多い。	いつも能動的である。	常に積極的で、期待以上に取り組む。 周囲に前向きな影響を及ぼす。	自ら課題と向き合い、徹底的に取り組む。 全体の活動を牽引している。	2倍加重 配点
2. 課題解決力 科学的探究力	規準 徴候	探究活動が不十分である。	以下の理由等で、成果が十分でない。 適切な手法でない。 結果が出ていない。 結果を正しく解釈できていない。	探究活動を実施して成果を上げた。 適切な手法を行う。 結果を出すことができた。 結果を正しく考察できた。	複合的なアプローチを行う。 複数の科目領域の手法を用いる。 継続的に探究活動を進展させる。	総合的なアプローチを行う。 教科領域を超えた手法を採用する。 創造的な活動に発展させる。	2倍加重 配点
3. 多角的視点 様々な視点	規準 徴候	事象を主観的・一面的に捉える。	事象をある程度客観的に捉えている。	事象をいくつかの視点から捉えている。 客観的判断ができると認識している。	事象を複合的な視点で捉える。 メタ認知を行い、客観性を担保する。 メタ認知	事象を多面的に捉える。 客観性を高める力が高い。 全体の視点、長期的視点を持つ。	
4. 協働性	規準 徴候	コミュニケーションがとれない。	コミュニケーションがある程度とれる。 ある程度協力して活動を実施できる。	十分にコミュニケーションが行える。 協力して活動を実施できる。	周囲に配慮して、活動の効率化に貢献する。	全体を把握し、計画を見直しつつ活動をとりまとめる。	
5. 発表力 プレゼン ポスター等	規準 徴候	発表に大切な部分で大きく欠けている。	発表できるが、内容が十分伝わらない。	分かりやすく適切な説明ができ、質問に回答する。	聴衆を見てスムーズに発表し、質問内容を理解して回答する。	聴衆に対応してスムーズに発表し、質問にも適切に対応し、議論を展開できる。	
6. 情報活用 収集・分析・発信	規準 徴候	活動に要する情報処理ができない、またはしない。	ある程度情報処理ができる。	必要とする情報処理を十分に行った。 グラフ、平均	自分で工夫して分析を行う。 周囲に説明して理解を促す。 標準偏差、相関	根拠を持って分析し、的確に活用する。 方法を提案し、活動を牽引する。 各種検定の理解	
7. 科学的 知識・技能	規準 徴候	活動のための知識が不十分。	活動のための知識をある程度身につけている。	活動のための知識を十分身につけている。 技能についてもある程度身につけている。	知識を深く理解し、明確に説明できる。 技能について十分身につけている。	知識をもとに、意味ある議論を展開できる。 技能について習熟し、工夫を凝らしている。	
8. 国際性 視点・語学力・ コミュニケーション 力	規準 徴候	向上の必要性を認識していない。	向上の必要性を感じているが具体的方法が分からない。	向上の必要性を実感し、能動的に行動して、能力を向上させている。	高い国際性を有している。 周囲に前向きな影響を与えている。	非常に高い国際性を有している。 全体を牽引して活動を行っている。	